スマホをかざすと
写真が動く!

広報紙をより楽しんでいただくため、AR（拡張現実）を導入しています。対応写真には左の「にかほっぺんARマーク」がついていて、ご利用いただくには、専用アプリ（無料）のインストールが必要です。導入方法などは市のホームページをご覧ください。

協働のまちづくりを進めるために
平成30年度にかほ市行政懇談会

11月22日、象潟公民館で今年２回目となるにかほ市行政懇談会が行われ、各地区の自治会長88人が出席するなか、市川市長を始めとする市当局から今年度の経過報告などが説明されました。

市がおかれている現状とそれにともなう課題、そして協働のまちづくりを進めるための自治会と行政の連携など、さまざまな意見交換が行われました。

▲各地区の自治会長が一堂に会する行政懇談会

音楽を通した交流活動
ほたるの会交流コンサート

11月22日、仁賀保勤労青少年ホームでにかほ市精神保健福祉ボランティアほたるの会の交流コンサートが開催されました。毎月コーヒーサロン等の活動を行っているほたるの会ですが、コンサートでは会員の皆さんによる合唱などを披露。今年はさらに横手市在住のソプラノ歌手・照井咲枝さんをお迎えし、ともに音楽ホールに歌声を響かせました。

▲会員の佐々木金良さんによるギター弾き語り

「ひとり象潟」を熱唱、そして「にかほ市ふるさと宣伝大使」に就任！
花咲ゆき美「ひとり象潟」ディナーショー

11月23日、ねむの丘で演歌歌手・花咲ゆき美「ひとり象潟」ディナーショーが行われました。

花咲さんは青森県野辺地町生まれ・東京育ちで、平成19年にデビュー、今年11月7日に初のご当地ソングである「ひとり象潟」をリリースしました。「ひとり象潟」は作詞家の麻こよみ氏が好きな景勝地である象潟を舞台に、失恋した女性の諦めきれない思いを描いたもので、この日が現地での初お披露目となりました。また、本人や参加者の皆さんもサプライズだった「にかほ市ふるさと宣伝大使」への就任式があり、本田副市長から委嘱状と名刺、半被が贈られました。今後、「ひとり象潟」のヒット、そして宣伝大使としての活躍が期待されます。

▲委嘱状を笑顔で受け取り、半被を羽織る花咲さん

▲デュエット曲を含む全９曲を熱唱しました。

地域を照らす名物スポット
未来へのページェント・イルミネーションコラボⅡ

12月１日、小滝地区・相馬雅彦さん宅のモミの木と周辺を彩る未来へのページェント・イルミネーションコラボⅡが行われました。モミの木には相馬さんが約４,000個のＬＥＤ電球を取り付け、街路樹やフェンスには地元の有志25人が約８,200個の電球を設置。年末年始の名物スポットとしてイルミネーションのコラボが地域を明るく照らします。

▲1月7日まで点灯。午後4時～10時まで（モミの木は午後9時まで）

笑いながら商店街を元気に
桂三若・桂三度 二人会

11月24日、象潟公民館で象潟町商業振興会主催の桂三若・桂三度 二人会が行われました。

同振興会が商店街を元気にしようと、加盟店で買い物した方へご招待券を発行、今注目の落語家の登場に大勢の観客が詰めかけました。小刻みに笑いを誘う三若と、後半一気に笑い所がやってくる三度の絶妙なバランスに会場には笑い声が溢れていました。

▲秋田お笑い大使の桂三若（写真：左）と世界のナベアツこと桂三度（写真：右）

野球のすばらしさを体感する
ともしび野球教室

12月９日、ＴＤＫ屋内練習場でともしび野球教室が行われ、75人の野球スポーツ少年団員が参加しました。今回で３回目となる本教室、中日ドラゴンズの監督に就任した与田剛氏をはじめ６人の元プロ野球選手がコーチとなり、投・打・守・走の基本を団員に教えました。また、記念撮影やサイン会も行われ、団員にとって忘れられない１日となりました。

▲元プロ野球選手によるマンツーマン指導

100歳長寿おめでとうございます
長寿祝状・祝金贈呈式

12月５日、伊藤雪子さん（琴浦・大正７年生まれ）が100歳の誕生日を迎えられました。

市内施設で市川市長から祝状と祝金30万円が贈呈され、「ありがとうございます」としっかりとした口調で答えられました。施設の職員によると雪子さんは今でも「自分のことは自分です」とのこと。

これからも末永くお元気でお過ごしください。

▲施設の皆さんに祝福され記念撮影を行いました。